

## 「高松松平家」と栗林公園の歴史

栗林公園の築庭は約400年前の1630年代頃、讃岐を治めていた生駒家の4代藩主 高俊公から始まり、「栗林荘」が築かれました。

その後、1642年に入府した高松松平家 初代藩主 頼重公が「栗林荘」の改修・拡大に着手し、以降、歴代藩主が100年以上の歳月をかけて改修・拡大を続け、1745年 5代藩主 頼恭公の時代に完成しました。

初代 頼重公から11代 頼聡公まで228年にわたり、高松松平家によって「栗林荘」は大切に使用され、守り継がれてきました。



## 「高松松平家」と「フタバアオイ」

高松松平家の家紋は、徳川将軍家と同様「三つ葉葵」です。「三つ葉葵」は、「フタバアオイ」をモチーフにした紋です。

### <フタバアオイ>

- ウマノスズクサ科の多年生草本の植物
- 葉の形は深いハート型で2枚が対になっています。
- 冬は葉を落とします。

## 「下鴨神社」と「葵祭」

「葵祭」は、今から約1400年前の「賀茂の神」の祭礼が起源と言われており、下鴨神社と上賀茂神社の両神社の祭礼。平安王朝時代の古式のままに行われ、内裏神殿の御簾をはじめ、御所車、勅使、供奉者の衣冠、牛馬に至るまで全てを葵(フタバアオイ)の葉で飾ったことから「葵祭」と呼ばれるようになりました。(下鴨神社HPから抜粋)